



●発行：宗教者9条の会・大分 ●〒879-5102 由布市湯布院町川上3561 見成寺 TEL 0977-84-2257 FAX 0977-84-5203

46%は意思表示をしなかった国選

自民党が勝てるというタイミンを狙った今回の総選挙。何故解散総選挙なのかは明らかにしないまま、臨時国会冒頭解散。野党の準備期間は全くないままのいきなり選挙で、自民党は圧勝したと言

うが、連立の公明も6議席を失い、狙っていたはずの改憲の支持率は賛成34.9%、反対51.3%(共同通信)。内閣支持率は支持43.8%、不支持44.1%と拮抗している。選挙で意思表示しなかった人の多くは、政治に無関心か不信感を持っているからだと思う。

自民党・独裁・圧勝”と言

うほど支持されているのではない。
総理大臣4選は、初代内閣総理大臣、伊藤博文以来に

なるという。在任期間は通算2720日という長期政権である。初代・2代の内閣は、太政官達第69号に基づいて任命されたものである。記録には《太政官制を廃止し、第1次伊藤博文内閣の成立》(1885/12)とある。初代総理の誕生だ。一時、伊藤博文の肖像が紙幣に使われていたが、諸外国の批判を受け姿を

消した。新渡戸稲造という人も5千円札の肖像画に使われていたが、あつという間に姿を消した。台湾総督府の創成に関わっていたからだ。総督府は台湾や朝鮮半島の植民地支配の権力の象徴であった。

伊藤は、就任2年後の87(明治20)年12月25日に《安保条例公布》(秘密結社・集会の禁止・屋外の集会運動の制限・危険人物の退去命令)。12月28日に《新聞紙条例・出版条例》を制定、即日施行している。さらに退任前日に《枢密院官制》を公布。伊藤博文は初代議長となり、影響力を保持したままの退任となる。伊藤の場合、4年後の第2次内閣になるまでの間、黒田・三條・山縣・松方内閣があるが、薩・長という支配構造の中で伊藤内閣の延長線にあったと見られる。89年2月11日《大日本帝国憲法》

日野 詢城

人間が人間を支配する
その争いを脱皮して
民主主義は生まれた
民衆の宝を
放棄してはならない

日本国憲法 第9条
日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

が発表され、その年の12月24日に公布されている。幕末から維新、そして帝国憲法の制定で、国のかたちが完全に出来たと言える。翌年には《教育勅語》の発布。戦争の準備が整った92年8月8日に第二次伊藤内閣が成立。94年6月に朝鮮出兵。94年8月には日清戦争を始めている。その後98年1月に第3次伊藤内閣が成立。同6月、退任直前に安保条例を廃止している。地租条例改定・田畑地価修正法が公布され、租税の基盤を固める。1900(明治33)年、3月に治安維持法が公布され、陸・海軍省官制改定で、軍部大臣の現役の大・中將制確立。それらを受けて10月に第4次伊藤内閣が成立している。政府は建費補充などのための租税諸法案を議会に提出。一般社会は疲弊し、金融恐慌が各地で起きた。

岸信介・伊藤博文いずれなのか

第1次安倍内閣の頃、アベノミクスと言いつつも、安倍晋三が目指しているのは、曾祖父の岸信介(1957/2 ~ 1960/7)だと思われる。岸信介は、いわゆる60年安保を成立させた総理大臣である。

この時代は民意が力を持ち、労働組合が大きな勢力を持つようになっていた。1955年(鳩山内閣)には総評・全労が全国大会を持ち、また第1回原水禁世界大会が広島で開かれている。この年の11月15日に自由・日本民主の両党が合流、自由民主党が結成されている。「なべ底景気」と言われる中、鉄鋼労連のストなどがあり、日教組の勤評抗議集会など、国政に対して敏感に反応する労働者の運動が排出する時代でもあった。国会内でも「非核非武装」が提起されギリギリの攻防で審議が停止するなどの動きがある中、岸首相は「ミサイル攻撃に対しては敵基地を攻撃することもありうる」と参院予算委員会で答弁している。60年1

月19日、日米新安保条約・新行政協定に調印。5月20日、「日米新安保条約」を自民党単独可決。日米間の批准書調印の直前、6月15日、全学連主流派のデモが国会の構内に突入。東大生の樺美智子さんが死亡している。

第1次安倍晋三内閣の時、多くの識者は祖父の岸さんを目指していると言いつつ、私は安倍晋三の目指すところは「明治維新」の「富国強兵論」に近いと見ていた。それがここに来て、伊藤博文を目指す人だと、報道も視点書をより厳しく見直している。教科書に登場する伊藤とは全く異なる人物である。富国強兵を掲げ、植民地支配を拡大し、1945年までの《大東亜共栄圏》を生みだす元祖とも呼べる政治家・伊藤博文の姿は、安倍晋三の目指すところによく似ていると思う。

長期安定政権と言いつつ、危機を乗り越え、日米安保の関係性を強化。何時でも「戦争の出来る」体制作りなど、その手法、手順など、極めて計算高く危険な方向を示している。

大分の衆院選をどう見るのか

10月22日の開票結果だけを見れば、小選挙区3議席を自民党が独占する形になり完敗。重複立候補だった3名は比例九州ブロックから復活当選。大分1区は希望の吉良さん。2区は社民の吉川さんが、そして3区の立憲民主の横光さんが当選した。

1区は吉良州司さんが、3030票の差で次点に。古手川恵さんの票を合算すれば余裕の当選だ。衆議院の解散は、民主党の党首選にかぶせるような形となり、枝野幸男と前原誠司の一騎打ちとなり、結果は前原の圧勝。民主党の党首選となり、選挙戦についての一任を取り付けた前原はただちに、「民主党」の解散を宣言。

2区は衛藤征士郎は自民の重鎮、重複立候補はないということに組織の引き締めを計り、災害復旧に取り組む姿勢をアピール。安定した政権をという決まり文句も連発していた。事実上、社民で立候補した吉川元がどこまで迫れるかが争点だった。県平和運動センターを中心に、連合大分の加盟

「排除はある」と明言。「排除」の発言を受け、枝野は「立憲民主党を」投票20日前に立ち上げる。大分1区はこの離散集合で大きな打撃を受けた。民主党から立候補予定であった吉良州司は希望の党から出馬となり、野党共闘が崩れ、急遽共産党の古手川恵さんをたて護憲リベラル層の受け皿となったが、自民の穴見陽一を有利な立場とした。希望の党の小池代表は「完敗宣言」をし、前原氏は辞任の意向を示している。中央の動きが、地方の小選挙区を直撃したのは、衆院選初めてのことだと思ふ。排除の一言で「立憲民主党」を立ち上げた、枝野幸男代表の選択は正しかったのだと思ふ。

3区は自民の岩屋毅が保守層をまとめて、対抗馬を待つ形に。党

所属の地方議員や業界団体の引き締めや、公明党との連携「安定政権」継続の訴えを。横光克彦の急な出馬で、共産・希望の党の候補予定者が出馬を取り下げするなど、調整時間も取れない出遅れが響いて次点に。

8万4千票あまりの得票は比例代表の復活当選に結びついた。

結果としては3対ゼロの選挙結果であったが、投票率は1区を除き60%代をキープした。希望の党の奮りと攪乱に加えて、民主党の解散宣言で野党共闘が崩れ、与党に有利な状況を生み出したと言えよう。吉田忠智、社民党党首のいうように、そのような状況でなければ50議席くらいの上乗せができたのが、今の野党の力量だと言えよう。これはあくまで投票結果をみた私なりの分析であるが、結果を左右するのは「無投票層」であることは間違いない。政治不信を立憲民主党が軸になり払拭できれば、投票率は必ず上がると信じている。この後も、民主主義にとつて投票活動が命であることをもつと多くの人に伝えたい。

我が家はいつの間にか「子ども図書館」に

4月28日、仏教会の会議を終えて部屋に戻ろうとしたとき、廊下に沢山の荷物が山積みされていた。「そうか松居さんたち宅配便で荷物を送ったのか」と思い部屋に戻ると「きたわよ！荷物おいて遊びにでかけたよ」だって！

寒いよ、中でも由布院の夜は冷える。私は妻の敦子と寝具となりそうなのをあるだけ引つ張り出して使うことにしようと決めた。

簡単なレクチャーのあと、子どもたちは本堂一杯に拡がり、遊びを始めた。日本の子どもたちのように「何をして遊ぼう」ではなく、初めての日本、

29日到着の予定であったので1日早く来たことになる。少々たじろいだが無縁に、賑やかに子どもたちが街から帰ってきた。部屋に上がる前、「長期の滞在になるので、ここは自分のお家だと思つて自由に過ごして下さい」と伝えて貰った。まだ貸し布団も届いてない。「どうしましよ」と友達さんに聞くと、寝袋を持つているので大丈夫だと言う。到着したばかりの初めての日本の夜、

はじけるような歌声が聞こえると一緒に歌いそして踊り出す：一つのこととは長くは続かず、次々と折り重なるように遊びがとびだす。椅子取りをやっている子たちもいる。ピアノを見つけて弾いても良いかと訊ねてきた子もいる。「あるものは何でも使つて良いよ」と伝え「ほっておけばいいな」と私は退散。

間もなく夕食の準備が始まった。近くのスーパーマーケットに友さんの車で買い出しに、出掛けるところから賑やかな夕食作りが始まった。調理具は、鍋一つにフライパン一つ、それだけあればいいという。ガスコンロの使い方を教えているときは神妙な顔をして質問もあった。ご飯は二升炊きの炊飯器。ガスに火を付けてあとは出来上がるのを待つだけと。手順を教え、あとは音で判断するように伝えた。作業



の一つ一つがうれしくつて、楽しくつてたまらない子どもたちの声が聞こえてくる。1時間ほどしてお料理は完了。食の方も自由だ。全員揃って食事したのは友さんがいた何日間かだけだった。食事の決まりはなさそうである。立ったまま食べる子も、座り込んで食べる子も、腰を下ろす場所を見つけて「みつけた」という感じの子も。お碗1個にお皿一枚、お箸にスプーンを準備したが、お茶碗の上におかずを載せて、手を使い上手におかずを巻き込むようにして食べる子もいる。食べながらも身体はリズムを取っている。手を休めて歌い出す子も。いやはや「食べることが、こんなに楽しいことなのか」と驚かされた。おかず代は1日千円程。質素な素材を丁寧に調理して朝夕延べ30人分を賄う。日本の

食事の1人前で30人のおかずを作る。どんな味がするのか時々つまみ食いをしたが美味だ。とりわけ油の使い方が上手い。塩コショウに醤油、決して廃油などは出さない。作る人も食べる人も、台所に移動するとき、リズムを刻み何かを歌っている。「これがミンダナオの共同生活なのだ」と。

滞在期間中は雨が多かったため、殆ど本堂での部屋遊び。ゲームをする姿はない。ボールなどの少しの遊び道具で、遊びを作り出す。歌声の他に、一日中ピアノやギターが鳴っていた。夜になると疲れた子たちが布団に潜り込む。布団の中で「うるさい」と言っていることに気づいて欲しいのだろうが気づくことはない。あきらめ顔で頭から分厚い布団をかぶりゴロゴロしている。子どもたちにとって布団は楽しい遊び場、あのふわふわ感がいいのだ。

ある温泉地。男の子たちを古びた温泉に連れて行った。温泉に手をつけて「熱い！」と言った。その温泉を管理している人は予め水を入れてくれたという。私も熱いとは思わなかった。取りあえず脱衣場で服を脱ぎ、私が裸になって温泉につかった。初めての温泉体験。パンツが脱げない。タオル一枚でうまく隠すのだと教えるが、その勇気がない。パンツのままで入りたいというが、それは「日本流ではない」と促す。最初に身を沈めたのはジェックだ。私は風呂の中から誘うが、英語が全くダメな私には辛抱強く待つしかない。ジャックはタオルを湯船の外に置いて「ジャパニーズスタイル」と誇らしげに声を挙げた。私には冷たいと感じるほどに水を注ぎ込み、全員が温泉体験をクリア。途中で一人お客が来たが、あまりの賑やかさに驚いて帰ってしまった。後に来た20代の男性は、英語で話しかけながら、一緒に風呂につかった。旅人らしい、軽やかな英語でフィリップスのことを聞いていた。子どもたちはそれでまた少しリラックスしたようだ。

時にはうるさい！止めて、と言われたピアノ弾きは「ドドン」だ。最初はたどどしく旋律を探り引きしていた彼のピアノは、2週間後にはジャズっぽくなってきた。ギターを弾いているので和音の取り方が上手い。上手にピアノが弾けるようになると、歌も一緒についてくる。鍵盤から目を離しても大丈夫なほど急成長したピアノ弾きはリクエストを取るようになり、大合唱も…。期間中で最大のお土産を手にしたのも彼だと思う。ビックネームのアンプ付きエレキギターを、中津の細川慈照さんからもらい受けて帰ってきた。後で聞いた話であるが「少しだけセツシヨンし

総会のご案内

日時 11月14日(火)
14:00～16:00
会場 願西寺 大分市今津留
電話 097-558-8430
今後の活動について
意見集約します。

編集後記

「ミンダナオ子ども図書館」は児童作家の松居友さんが主催する民間施設。戦闘で親を亡くしたり、貧困なため学校に行けない子たち80名あまりと共同生活。友好のため14名の初来日。(詢)

てみて、天童と呼べる音感をしているなど思った。プロのギターリストになって帰ってきて欲しい」という思いだったと。30年ほど前に彼が始めて手にしたギターらしい、慈照さんらしいプレゼントだ。

前進座特別公演
井上ひさし 作
たいごどんどん
12月12日(火)
ホルトホール大分
チケットあります

世話人(◎代表者)

- 無着 成恭
- 曹洞宗僧侶
- 酒迎 天信
- 日本山妙法寺
- 日野 詢城◎
- 大谷派見成寺
- 林 正道
- 大谷派安養寺
- 西郡 均
- 本願寺派誓岸寺
- 古谷 聡
- 大谷派蓮照寺
- 佐々木淳二
- 大分メノナイトキリスト教会
- 掛橋 泰定
- 日蓮宗妙栄寺
- 大在 紀
- 本願寺派 長光寺
- 野口 春夫
- 日本基督教団津久見教会
- 永井 一匡
- アライアンス大分キリスト教会